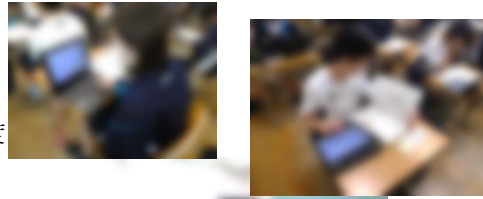


南千住検定

9月21(火)6校時に、南千住地域の史跡、寺社、歴史、祭事などを学び、その知識を競う「南千住検定」が行われました。全校生徒で検定までの数日間、朝学習や総合の時間などを利用して、これまでの過去問などの練習問題に意欲的に取り組みました。試験は昨年度に引き続きGoogleFormアプリを使って行われました。日頃から授業などでタブレットを使う機会も多く、ほぼ全員が時間内に正確に検定試験を行うことができました。その日のうちに集計された結果では、全校の平均は55.5点でした。なかでも特に好成績を取めたのが2年1組です。受験者のうちの2/3が級を取得し、クラス平均は71点に上りました。この快挙に、新しくクラス賞が設けられ、**2年1組が初の荣誉に輝きました。**「南千住の歴史を語る南二中生」を合い言葉にはじまった地域学習。南千住検定は、自分が暮らす地域に興味を持ち、歴史や文化を学ぶ機会となって、南千住の街をさらに好きになり、誇りに思う生徒たちに育つことを目指しています。



南千住検定級取得者

1級(90点以上)

3年生(1組) ○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん

2年生(1組) ○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、(3組)○○○○さん

2級(80点以上)

3年生(1組)○○○○さん、○○○○さん、(2組)○○○○さん、(3組)○○○○さん

2年生(1組)○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん(2組)、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん(3組)○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん(4組)○○○○さん、○○○○さん

1年生(4組)○○○○さん、○○○○さん

3級(70点以上)

3年生(1組)○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん(2組)○○○○さん(3組)○○○○さん、○○○○さん(4組)○○○○さん、○○○○さん、2年生(1組)○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん

(2組)○○○○さん、○○○○さん

(3組)○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん

(4組)○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん、1年生(1組)○○○○さん

(2組)○○○○さん(3組)○○○○さん(4組)○○○○さん、○○○○さん、○○○○さん

南千住マイスターのコーナー

くまなもくまなくその姿が南千住二中に現われます。これから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。

杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。

杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。

杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。

杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。杭の一本が、いつまでも立って替わらなから泳ぎ回れるように、舟の事故や水死人の数が少なくなるといふこと。

特別編 すみだ川の妖怪 『片目の大鯉鯉』

隅田川は、産業と交通をお休みし、霜月祭に向けて現在制作中の「御輿」の妖怪「片目の大鯉鯉」をお届けします。



協力: NPO法人 千住すみだ川



学校だより
令和三年10月
第120号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

和を以て貴しとなす

校長 松田 公好

本校では現在、新型コロナウイルス感染防止の一環として、全校生徒が一堂に会すことを避けて放送による朝礼を実施しています。

校長にとって全校生徒に向けて話す機会である『朝礼』は、校長による道徳の授業という一面があると思っています。私は毎回「生徒にどんな考え方をしてほしいか」という観点で講話の内容を考えるようにしています。

先日は放送朝礼から一步進んでGoogle meetを使った朝礼を実施し、以下のような話をしました。

【校長講話より】

みなさんは「和を以て貴しとなす」という言葉を聞いたことがありますか？

文字通り「和を大切にしなさい」という意味で、聖徳太子の時代の十七条憲法の一文が由来とされている言葉です。つまり日本ではその時代から、争いごとを回避して相手を尊重する文化が受け継がれてきたのだということです。

近年しばしば話題に上ることも多い「おもてなしの心」もこの相手を尊重することを大切にしている日本の文化をよく表しています。

しかし、この「相手を尊重する心」が少し薄らいできていると指摘する声もあるようです。



伝・聖徳太子像

みなさんはハサミを相手に渡すとき、どのように渡しますか？

相手に刃先を向けて渡す人はいませんか？

日本では昔から、刃先は自分に向けて相手には持ち手の方に向けて手渡します。

しかし、最近このような渡し方を知らない人が増えていわれているのです。

では、ほかの国ではどうかというと…

例えば南米のアルゼンチンではハサミのような刃物を相手に渡すときは、「一旦置いて相手に取らせる」そうです。もし相手に刃物を手渡ししてしまうと、なんと相手はケンカを売ってきたと判断するのだそうです。

刃物の刃を自分に向けて渡すのは日本人だけと言ってもよいようです。私はこんな日本の文化が素敵だと思います。

日本人は果物ナイフを使うときにも、自分に刃を向けますが、アメリカ人は逆に刃を外に向けます。アメリカでは「自分の身は自分で守る」ことをより重要視する文化があるからでしょう。

また、「おもてなしの心」を大切にしている日本の飲食店では、包丁はもちろんのこと箸でさえ決して客に向けてはしないそうです。チャンスがあったら確認してみてください。

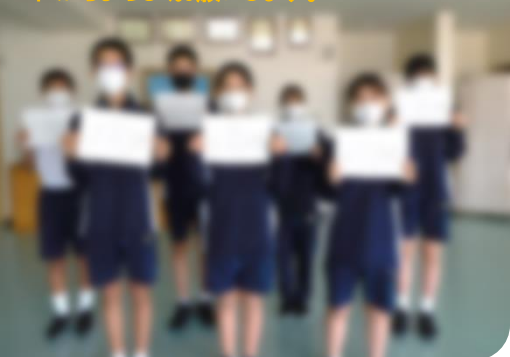
このような「相手を尊重する心」が少しずつ失われていってしまうのは悲しいことです。

「気づき、考え、実行する」もこの心为基础となっているはず。少なくとも南二中ではこの「相手を尊重する」という日本の古き良き文化を守っていきましょう。

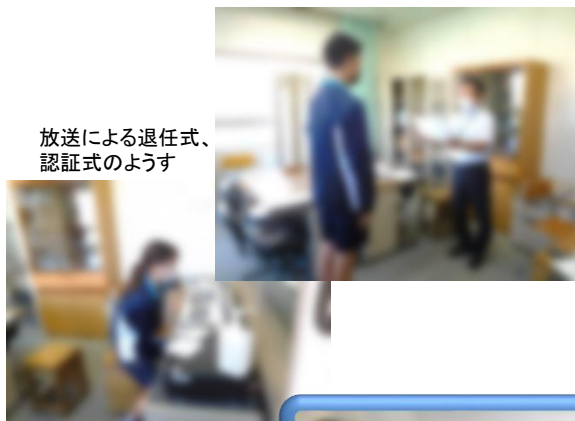
第34期生徒会認証式！

10月11日(月)の生徒会朝礼にて、放送による第33期生徒会役員の退任式と第34期生徒会役員の認証式が行われました。前生徒会長の〇〇〇〇さん(3-4)からの「学年を交えた活動が制限される中、各学年フロアではいつも笑顔があふれており、この学校の生徒会本部で活動していることを誇らしく思います。これからも頼れる後輩たちの手で、より笑顔あふれる学校にしてくれることを楽しみにしています」というメッセージに、校内からは大きな拍手が送られました。つづいて、第34期生徒会本部役員の認証式が行われました。34期の生徒会本部は、**生徒会長**を〇〇〇〇さん(2-4)、**役員**を〇〇〇〇さん(2-1)、〇〇〇〇さん(2-3)、〇〇〇〇さん(2-4)、〇〇〇〇さん(1-1)、〇〇〇〇さん(1-3)、〇〇〇〇さん(1-4)の7名が務めます。放送室で行われた認証状の授与では、校長先生から一人ひとりに認証状が渡されました。退任した他の役員の皆さんの挨拶は、霜月祭で行われる予定になっています。これからの活躍が期待されます。

第34期生徒会役員の皆さん。これからよろしくお願いします。



放送による退任式、認証式の様子



2年生 妖怪講座

9月28日(火)の6校時に、造形作家の天野 行雄さんとNPO法人千住すみだ川の海老江 重光さんを講師にお招きして、2年生の妖怪講座が開かれました。

妖怪講座では、海老江さんが長年集めてきた隅田川やその流域の南千住の街にまつわる言い伝えと、それをもとに天野さんが描いた妖怪の絵などを見ながら、いくつもの妖怪についてお話をうかがいました。今年の大霜月祭では、2年生は妖怪をテーマに劇を上演することもあり、大変興味深く、妖怪にまつわる話に聞き入っていました。



3代目・片目の大緋鯉 制作中！

南千住第二中の1階玄関ホールには3体の妖怪御輿が展示されています。地域学習のひとつとして、隅田川にまつわる伝承に登場する妖怪を中学二年生を中心とした「伝説探求部」の皆さんと造形作家の天野行雄さんが木材や竹、紙など自然の素材を使って創作しました。

そのうちの1体「片目の大緋鯉」が今年リニューアルされ、新たな姿となって登場します。今回で3代目となる大緋鯉は、生徒のアイデアやデザインなども採り入れ、勢いよく隅田川から飛び出す様子をイメージしたもの。現在、霜月祭に向けて制作中です。どうぞ楽しみに！また、大緋鯉にまつわる伝承は、マイスターコーナーで紹介しておりますので、併せてご覧ください。



霜月祭に向けて

ハンドアート

10月28日(木)に開催される霜月祭に向けて、11日(月)から本格的な活動がはじまりました。今年は、生徒会の企画・制作による「ハンドアート」も展示されます。絵の具を使って一人ひとりが手形をとり、全校生徒の手形を使ってひとつの大きなアート作品をつくります。全校生徒が一堂に集まる機会がほとんどなかったこの1年半に思いを寄せて、南千住二中の強くてあたたかな絆を感じさせるダイナミックで美しいアート作品を生徒会が中心となり現在制作中です。

また、各学年ごとに南千住二中恒例の地域学習劇の準備も進められています。今年は、舞台上で実際に演じるようになっており、キャストの皆さんの演技練習も日増しに熱が入ってきました。放課後の各学年フロアは、大道具、小道具、音響・照明、衣装などの係に分かれ、それぞれの活動に楽しく取り組む姿が見られ、日々賑わいを見せています。今年は教科や部活動などからの展示出品数も多く、たいへん充実した霜月祭となることでしょう。

なお、保護者の皆さまの見学は、30日(土)となります。こちらもお楽しみに！

地域学習劇ただ今準備中！



後期生徒総会

今年度の後期生徒総会が10月15日(金)6校時に今年も各クラスごとに学級委員や専門委員会を中心に行われました。これに先駆けて10月8日(金)には、生徒会本部と各専門委員会が活動方針や具体的な活動報告などをまとめた議案書の内容について、質問や意見を交わす議案書討議が行われました。このとき上がった疑問や賛成意見、反対意見に対して学級委員や専門委員会の委員が回答をしていきました。その場で回答できなかった質問や多くのクラスから寄せられた賛成・反対意見は、その後開かれた専門委員会でも十分検討され、明確な回答、実行・修正意見となって、それぞれの専門委員から報告されました。各クラスでは、改めて協議を重ねた生徒会本部、各委員会の活動方針・活動内容が報告され、全員の承認が得られました。一人ひとりの生徒が南千住第二中の一員としての自覚を持ち、より良い学校生活をつくっていくための活動に参加しているという意識を持つ大きな機会となりました。

2年生



3年生



1年生

